

追悼



上原勝先生を偲んで

佐藤弘喜

本学会名誉会員で、学会活動に貢献された上原勝先生が、2020年1月に逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。上原先生は千葉工業大学の工業化学科を卒業後、東京工業大学大学院理工学研究科で博士課程を修了され、千葉大学で教鞭をとられました。その後、1988年に母校である千葉工業大学に工業デザイン学科（現デザイン科学科）が開設されるのに合わせて着任され、学科の礎を築かれました。以後、2012年まで学科長や国際交流委員長、副学長などを歴任されて名誉教授の称号を得ました。その間、1995年にはカナダ・トロント大学に客員教授として招かれています。また、日本消費者協会において、長年にわたり商品テスト専門委員長を務められました。

学会役員としては、7年間にわたり理事として本部事務局や学会誌編集委員会の役割を担当されました。1993年秋季および2011年春季と千葉工業大学で開催された2度の研究発表大会では、ともに実行委員長として大会を成功に導かれました。ご専門はデザインにおける材料計画で、金属材料、有機材料、無機材料など幅広く研究を進めて来られました。さらに、材料の利用だけでなく社会的な影響を考える視点から環境に関する問題意識を強く持たれ、1997年にはデザイン学研究特集号「エコロジー・リサイクル・PL法とデザイン」を、2011年にはデザイン学研究特集号「エコデザイン」を代表者としてまとめられました。

略歴

- 1964年3月 千葉工業大学工業化学科卒業
- 1970年3月 東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了
- 1971年4月 東京工業大学助手（資源化学研究所）
- 1973年7月 千葉大学工学部講師併任
- 1979年5月 千葉大学工学部助教授
- 1988年4月 千葉工業大学工学部教授
- 1993年9月 日本デザイン学会第40回秋季研究発表大会実行委員長
- 1995年4月～12月 カナダ・トロント大学客員教授
- 2003年4月～2004年9月 千葉工業大学副学長
- 2009年4月～2011年3月 千葉工業大学工学部デザイン科学科学科長
- 2011年6月 日本デザイン学会第58回春季研究発表大会実行委員長
- 2012年4月 千葉工業大学名誉教授
- 2012年6月 デザイン学会名誉会員（第78号）

以上、上原先生のご経歴を振り返ってみましたが、私個人にとってはまさに恩師としてこれまで人生の重要な転機にお世話になり、感謝の念が絶えません。千葉大学の学生時代、学部4年での就職に向けた企業実習参加に際して、当時進路担当であった上原先生にお世話になり、念願叶って希望の企業に就職することができました。またそれから実に20年後に千葉工業大学の教員にお誘いいただき、上原先生のご配慮で私自身の経歴も決まってきたという経緯があります。私が2007年に現職に就いてから上原先生が退職されるまで、5年間という短い期間ではあるものの同じ職場で働かせていただき、先生が学科長として、また本学で開催された2011年の春季研究発表大会の実行委員長として尽力される過程を身近に見ることができ、多少なりとも協力できたことは貴重な経験でした。

上原先生のご最終講義のお話は、生き物や環境に配慮したデザインの重要性についてでしたが、このテーマは今日ますます重要性を増しています。最近の脱プラスチック問題などについてどのようなご意見をお持ちかぜひお聞きしたいところですが、それは叶わぬこととなってしまいました。最終講義の最後にはご自身のこととして、実験が趣味であり、今後も楽しみながらやっていきたいとの抱負を述べられていました。いかにも上原先生らしいお言葉でした。あらためて先生に感謝するとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

追悼



郡山正先生を偲んで

名誉会員 君島昌之

名誉会員の郡山正先生が2020年6月14日、106歳にて神に召されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

先生は大正3年のお生まれで昭和15年3月、東京美術学校本科油画科（藤島武二教室）を卒業され、鹿児島県立第一中学校（現鶴丸高校）など鹿児島県下の学校に勤務後、昭和38年に桑沢デザイン研究所教授（構成分科会主任）として勤務。昭和41年に女子美術大学芸術学部造形学専攻助教授、教授、主任教授と務められ昭和55年に定年退職を迎えられました。また、昭和50～52年、筑波大学、昭和53～60年に東京造形大学で講師として勤務。長年にわたり教職につかれ後進の指導に当たられて来られました。

先生は本学会において理事、事務局理事、監査としてご尽力いただきましたが、私が強く印象に残っておりますのは研究発表大会において毎回、ご研究の成果を発表されたことです。そして、静岡文化大学で開催された平成19年度第54回春季研究発表会で「世界存在の基本と考えた仏教の『五輪塔』への考察」のテーマで50回目の研究発表がありました。会場には先生の奥さま、お嬢さまも来場されました。事前に記念すべき先生のご発表との紹介があり私も拝聴しましたが溢れるばかり聴衆者で一杯でした。

先生の研究テーマである「形の研究」はプロダクトデザインを学んだ私自身、大変興味あるテーマで毎回、拝聴していましたが理解できず残念な思いがしました。先生は戦時中、仕事の無くなる美術関係の教員を物理、数学の教員に切り替える文部省の方針により広島文理大で物理の教員養成の講習を受けられ感性だけでなく科学的追求の手法に感銘を受け形の研究に応用されたことを伺い先生の思考の深さが理解できました。

平成3年度の第12回春季大会（テーマーデザイン教育を見

直す）の会場で配布の資料に先生より「デザイン教育理念におけるメランコリー」についてのテーマで小論をお寄せいただきました。デザイン教育の現場で矛盾する哲学や心情及び方法論の間で動揺するのは多量多種の情報に囲まれ常にアンビバレンツな知性に陥らざるを得ないとして矛盾の要因について列挙されました。当大会の実行委員長を務めた私自身、感銘を受けたことが思い出されます。

先生はデザイン学会に勝見勝先生の紹介で入会されましたが、先生のご趣味の音楽が勝見先生との結びつきを強くされました。勝見先生のご自宅でピアノを弾かれたり、勝見先生が作曲された曲を郡山先生が楽譜にきれいに直された程音楽にも精通されていました。

また、先生は油絵を描かれキリスト教の教会との関わりが深いことから文京区千石にある東京諸聖徒教会の100年祭に際して横5メートル、縦3メートルの大きな祭壇画を描かれました。続いて油絵が増えて17点が教会に飾られています。

先生のご著書はデザイン教育体系（誠信書房）、デザイン基礎技法辞典（岩崎美術社）、デザインの基礎（近藤出版社）など。作品はブックレットデザイン、カレンダーのデザインなど多数ございます。

平成19年度の50回目の発表を滞りなく終えてから歩行が不自由となり10年ほどベッドで過ごされましたが病氣もされず絵を描いたり歌を歌ったりご自宅で楽しく奥さまと過ごされました。先生は狭いベッド上でも退屈することはないと申され100歳のご自宅での誕生会ではご自身でオルガンを弾かれたそうです。

最後に大きな息を一息され奥さまに看取られ天に召されました。今回、先生のお嬢さまの関口晶子さまにご教示いただき、先生の105歳の写真を提供して頂きましたが、先生は素晴らしい人生を送られたと申されておりました。あらためて先生ならびにご家族の皆さまに感謝するとともにご冥福をお祈り申し上げます。



2020・2021 年度代議員選挙 結果

選挙管理委員会

2019年12月に、2020・2021年度代議員選挙が行われ、5地区で計137名の会員が選出されました。当選者（辞退者に伴う繰り上がり当選者を含む）ならびに投票率は下記のとおりです。

当選者

第1地区

岡本 誠 尾登 誠一 柿山浩一郎 酒井 聡
菅原 香織 田中 隆充 福田 大年 両角 清隆
柚木 泰彦 横溝 賢 若林 尚樹
(代議員定数11名)

第2地区

赤澤智津子 浅香 嵩 蘆澤 雄亮 阿部 眞理
安藤 昌也 五十嵐浩也 井口 壽乃 石橋 圭太
井上 征矢 植田 憲 上田 義弘 植村 朋弘
内山 俊朗 大島 直樹 岡崎 章 小野 健太
加藤 健郎 加藤 三喜 上綱久美子 上平 崇仁
川上 元美 清水 泰博 工藤 芳彰 國澤 好衛
久保 光徳 小林 昭世 小山 慎一 佐々 牧雄
佐々木美貴 佐藤 公信 佐藤浩一郎 佐藤 弘喜
下村 義弘 白石 照美 白石 学 杉下 哲
高野 修治 高橋 克実 田中 一雄 田中佐代子
田中みなみ 土屋 雅人 寺内 文雄 永井由美子
中井川正道 長尾 徹 永見 豊 永盛 祐介
生田目美紀 橋田 規子 蓮見 孝 八馬 智
原 寛道 平松 早苗 伏見 清香 古屋 繁
松岡 由幸 松崎 元 村上 存 森 香織
森山 貴之 柳澤 秀吉 山内 貴博 山崎 和彦
山中 俊治 山中 敏正 山本 早里 吉武 良治
渡辺 慎二 渡邊 誠 JAIME TARCISIO ALVAREZ RAMIREZ
(代議員定数71名)

第3地区

池田 岳史 石井 成郎 伊藤 孝紀 江口 倫郎
大坪 牧人 影山 友章 加藤大香士 木村 一男
木村 徹 國本 桂史 黄 ロビン 佐々木尚孝
滝本 成人 谷口 俊平 永井由佳里 西尾 浩一
廣瀬 伸行 森 進太郎 由田 徹 和田 功
禹 在勇
(代議員定数21名)

第4地区

赤井 愛 岡田 明 岡田 栄造 奥田 充一
川崎 和男 榎 勝彦 久保 雅義 曾和 具之
多田羅景太 谷本 尚子 塚本カナエ 寺島 正之
八田 晃 原田 利宣 平田 一郎 藤本 英子
前川 正実 益岡 了 三原 鉄平 村木 克爾
柳田 宏治 山岡 俊樹 吉原 直彦
(代議員定数23名)

第5地区

青木 幹太 池田美奈子 井上 貢一 伊原 久裕
岩田 敦之 梶谷 克彦 清須美匡洋 杉本 美貴
田村 良一 鶴野 幸子 森田 昌嗣
(代議員定数11名)

投票率

	合計数	第1地区	第2地区	第3地区	第4地区	第5地区
有権者数	1,393	110	713	215	239	116
総投票数	255	24	121	55	31	24
有効投票数	254	24	121	54	31	24
無効票	1	0	0	1	0	0
投票率	18.3%	21.8%	17.0%	25.6%	13.0%	20.7%
辞退者	5	0	2	1	2	0
代議員定数	137	11	71	21	23	11

2020・2021年度役員候補者選挙 結果

選挙管理委員会

2020年2月8日に拓殖大学文京キャンパスにおいて、2020・2021年度の役員候補者選挙が行われ、会長候補者、代議員選出副会長候補者、地区理事候補者、全国区理事候補者、監事候補者が選出されました。

2020・2021年度 日本デザイン学会 役員候補者選挙 当選者

会長候補者：小林 昭世

副会長候補者：佐藤 弘喜

地区理事候補者（◎印は支部長候補者、○印は副支部長候補者）：

第1地区 ◎横溝 賢 ○柚木 泰彦

第2地区 ◎平松 早苗 ○橋田 規子

第3地区 ◎滝本 成人 ○池田 岳史

第4地区 ◎益岡 了 ○赤井 愛

第5地区 ◎田村 良一 ○井上 貢一

全国理事候補者：

小野 健太 柿山浩一郎 山本 早里 岡崎 章

久保 光徳 小山 慎一 生田目美紀 松岡 由幸

永盛 祐介 山中 敏正 蘆澤 雄亮 大島 直樹

曾我部春香 寺内 文雄 伏見 清香 山内 貴博

岡本 誠 上綱久美子 國本 桂史 佐々木美貴

JAIME TARCISIO ALVAREZ RAMIREZ

監事候補者：國澤 好衛 蓮見 孝

○会長候補者選挙

会長候補者選挙は、代議員投票第1回目で有効投票の過半数を得た者がいなかったため、上位2名で2回目の投票を実施した結果、小林昭世会員24票、山中敏正会員4票で最多数を得た小林昭世会員が会長候補者に選出されました。

○代議員選出副会長候補者選挙

代議員選出副会長候補者選挙は、代議員投票第1回目で有効投票の3分の1以上を得た者がいなかったため、上位3名で第2回投票を実施した結果、佐藤弘喜会員20票、井口壽乃会員6票、山中敏正会員4票で最多数を得た佐藤弘喜会員が代議員選出副会長候補者に選出されました。

○地区理事候補者選挙

第1地区の地区理事候補者選挙では、横溝賢会員が最多得票で支部長候補者に選出されました。同票で2位は柚木泰彦会員、岡本誠会員、両角清隆会員でした。第1地区から出席した代議員が協議した結果、柚木泰彦会員が副支部長候補者に選出されました。

第2地区の地区理事候補者選挙では、平松早苗会員が最多得票で支部長候補者、橋田規子会員が2位で副支部長候補者に選出されました。

第3地区の地区理事候補者選挙では、滝本成人会員が最多得票で支部長候補者、池田岳史会員が2位で副支部長候補者に選出されました。

第4地区の地区理事候補者選挙では、益岡了会員が最多得票で支部長候補者、赤井愛会員が2位で副支部長候補者に選出されました。

第5地区の地区理事候補者選挙では、田村良一会員が最多得票で支部長候補者に選出されました。同票で2位は井上貢一会員、曾我部春香会員、梶谷克彦会員でした。第5地区から出席した代議員が協議した結果、井上貢一会員が副支部長候補者に選出されました。

○全国理事候補者選挙

全国理事候補者選挙は、代議員投票で、小野健太会員、柿山浩一郎会員、山本早里会員、岡崎章会員、久保光徳会員、小山慎一会員、生田目美紀会員、松岡由幸会員、永盛祐介会員、山中敏正会員、蘆澤雄亮会員、大島直樹会員、曾我部春香会員、寺内文雄会員、伏見清香会員、山内貴博会員、岡本誠会員、上綱久美子会員、國本桂史会員、佐々木美貴会員の20名が全国理事候補者に選出されました。その後、岡崎章会員が辞退されたため、次点のJAIME TARCISIO ALVAREZ RAMIREZ 会員が当選となりました。

○監事候補者選挙

監事候補者選挙では、代議員投票第1回目で、國澤好衛会員7票、蓮見孝会員6票、清水泰博会員4票で、國澤好衛会員と蓮見孝会員が監事候補者に選出されました。

2020・2021年度理事会選出副会長 結果

選挙管理委員会

2020年10月15日締切で、郵送による2020・2021年度の理事会選出副会長選挙が行われました。第1回目投票で有効投票の過半数を得た者がいなかったため、2020年10月24日に上位3名で第2回投票をオンラインで実施しました。その結果、最多票が同票で久保光徳会員と生田目美紀会員となったため、第3回投票を実施した結果、生田目美紀会員13票、久保光徳会員11票、無効1票で最多数を得た生田目美紀会員が理事会選出副会長に選出されました。

当選者

副会長：生田目美紀

日本デザイン学会2019年度第4回理事会議事録

日時■2019年12月14日（土曜日）15：00～17：30

場所■慶應義塾大学 三田キャンパス（田町）北館会議室2

出席者■松岡、小林、佐藤（弘）、蘆澤、井口、池田（岳）、大島、加藤（三）、上綱、工藤、國澤、國本、久保（光）、佐々木、田村、永盛、平松、益岡、村上、柳澤、山中、小野、佐藤（浩）、加藤（健）

欠席者■池田（美）、岡崎、岡田、柿山、加藤（大）、久保（雅）、小山、杉下、永井、生田目、原田、森田、両角、横溝

1. 会長挨拶

松岡会長より挨拶がなされた。

2. 野中宏親氏の作品集回覧について（松岡会長）

松岡会長より、野中宏親氏の作品集等の紹介があり、理事会メンバーにて回覧された。

3. 2019年度第3回理事会議事録の承認（佐藤本部副事務局長）

2019年度第3回理事会の議事録が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

4. 2020年度春季研究発表大会について（益岡担当理事）

益岡担当理事より、2020年6月26日（金）～28日（日）における日程案、基調講演案、およびチラシ案が示された。26日（金）の理事会開催時刻は12時10分から12時50分となった。その他の事項については引き続き、準備を進めていくこととなった。

5. 2020年度春季研究発表大会・概要集について（永盛概要集編集委員）

永盛委員より、春季大会におけるUSB概要集と投稿システム費用の案が提示され、承認された。

6. 2020年度春季研究発表大会テーマセッション&キーノートスピーチについて（小林研究推進委員長）

小林研究推進委員長より、2020年度春季研究発表大会テーマセッション&キーノートスピーチ募集について例年通りの手順で募集するとの説明がなされた。また、キーノートスピー

チにおける名誉会員への謝礼規定を策定し、次回の理事会で審議することとなった。

7. 2020年度春季研究発表大会OSについて（岡崎総合企画委員長（代）加藤理事）

加藤理事より、2020年度春季研究発表大会OS募集について説明がなされた。例年通り、4件のOSのうち、1件を理事会提案、1件を開催校提案、および2件を公募とすることとなった（1月31日締切）。

8. 発表取り下げとなった文献の複写可否について（永盛概要集編集委員）

永盛委員より、取り下げとなった講演発表論文の複写可否について大学図書館より問い合わせがあったとの説明がなされた。審議の結果、取り下げとなった論文の複写は不可とすることとなった。

9. 2020年度秋季企画大会について（岡崎総合企画委員長（代）小林副会長）

小林副会長より、2020年度秋季企画大会開催打診を行っていた東京都市大学での開催が難しいため、東京工芸大学での開催を検討しているとの説明がなされた。今後、開催予定校と総合企画委員でテーマ案を策定し、次回の理事会で提案することとなった。

10. 会長賞の選考について（松岡会長）

松岡会長より、会長賞の募集について説明がなされた。3月末までを締め切りとし、年齢制限を設けずに募集することとなった。

11. d-indexについて（松岡会長）

松岡会長より、デザイン領域における研究教育者の評価指標の1つになりうるd-indexに関する説明がなされた。理事会として、今後も引き続き検討していくこととなった。

12. 春季大会における査読セッションについて（蘆澤論文審査委員）

蘆澤論文審査委員より、春季大会における査読セッションについて説明がなされた。議論の結果、開催意義や想定される課題等を整理し、引き続き検討していくこととなった。

13. 第2支部主催「教育成果集」について（平松第二支部長）

平松第2支部長より、本年度における「教育成果集」実施について提案がなされた。審議の結果、第2支部が幹事として全

国的な企画として検討を行うとともに、コンテンツに発生する権利の管理方法について再度検討することとなった。

14. 会員の移動について（佐藤本部副事務局長）
事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、
入会：正会員6名（内外国人1名）、
学生会員2名（内外国人2名）
退会：正会員5名
休会：正会員1名
が承認された。

【報告事項】

15. Design シンポジウム2019について（小林運営委員長）
小林運営委員長より、Design シンポジウム2019の開催報告がなされた。

16. 2019年度第5支部発表会について（田村第5支部長）
田村第5支部長より、11月23日（土）に2019年度第5支部発表会が行われたとの説明がなされた。また、Mediawikiの利用や支部名義のCertification発行などの試みについても報告がなされた。

17. 2019年度第4支部研究発表会・交流会のご案内（久保第4支部長（代）佐藤本部事務局長）
佐藤本部副事務局長より、2020年2月1日（土）に京都女子大学で第4支部の研究発表大会が開催されるとの説明がなされた。

18. デザイン学研究の進捗状況について（久保論審委員長）
久保論審委員長より、『デザイン学研究』における審査状況の報告がなされた。また、9月発行予定であったVol.66、No.2が近日中に公開されることとNo.3について出版社へ入稿済みとの報告がなされた。

19. 英文ジャーナルの進捗状況について（村上論審副委員長）
村上論審副委員長より、『Journal of the Science of Design』における審査状況の報告がなされた。また、11月末発行予定であったVol.3、No.2が近日中に公開されるとの報告がなされた。

20. 特集号・会報の進捗状況について（井口学会誌編集・出版委員長、加藤（三）委員）
井口学会誌編集・出版委員長より、本年度3号分が発行されており、残り1号分も今年度中に発行されるとの報告がなされた。また、次年度分のコンテンツについても進捗報告がなされ

た。さらに、会報は今年度中に発行される特集号に掲載するとの説明がなされた。

21. 作品集の進捗状況について（杉下作品審査委員長（代）永盛委員）
永盛委員より、作品集の進捗状況について報告がなされた。現在2次審査中であり、12月末までに著者へ採否を通知する予定であるとの説明がなされた。

22. ホームページ更新状況について（大島広報委員長）
大島広報委員長より、会員の著書に1件更新があったとの報告がなされた。

23. 2019年度役員選挙について（永盛選挙管理委員長）
永盛選挙管理委員長より、代議員選挙結果の報告がなされた。また、投票用紙上での候補者のチェック方法について、混乱のない方法へ改善する必要性について説明がなされた。

24. 2019年度第3支部研究発表会・交流会のご案内（久保第4支部長（代）佐藤本部事務局長）
佐藤本部副事務局長より、2020年3月21日（土）に金沢美術大学で第3支部の研究発表大会が開催されるとの説明がなされた。

25. 2019年度秋季企画大会学生プロポにおける発表について（岡崎総合企画委員長（代）加藤理事）
加藤理事より、2019年度秋季企画大会学生プロポにおいて、事前に提出されたタイトルと異なる発表がなされていたとの報告がなされた。

記録：佐藤（浩）

日本デザイン学会2019年度第5回理事会議事録

日時■2020年2月8日(土曜日) 10:00~12:00

場所■拓殖大学文京キャンパス E402教室

出席者■松岡、小林、佐藤(弘)、池田(岳)、池田(美)、大島、加藤(三)、上綱、工藤、國澤、國本、境野、佐々木、杉下、永盛、生田目、原田、平松、益岡、両角、村上、柳澤、山中、横溝、小野、佐藤(浩)、加藤(健)

欠席者■蘆澤、井口、岡崎、岡田、柿山、加藤(大)、久保(雅)、久保(光)、黄、小山、田村、永井、細谷、森田

1. 会長挨拶

松岡会長より挨拶がなされた。

2. 2019年度第4回理事会議事録の承認(佐藤本部副事務局長)

2019年度第4回理事会の議事録が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 2020年度春季研究発表大会について(益岡担当理事)

益岡担当理事より、2020年6月26日(金)~28日(日)における2020年度春季研究発表大会の発表申し込みスケジュールやエクスカッション等の準備状況について説明がなされた。前回大会と同様の日程で準備を進めることとなり、エクスカッション案、参加者向け弁当の準備、高校生の無料参加、およびSNSを用いた告知について承認された。詳細なタイムスケジュールを次回の理事会で示すこととなった。

4. 2020年度春季研究発表大会テーマセッションについて(小林研究推進委員長)

小林研究推進委員長より、2020年度春季研究発表大会におけるテーマセッションは8件、キーノートスピーチは3件の応募があったとの説明がなされた。審議の結果、8件のテーマセッションと情報デザイン研究部会以外の2件のキーノートスピーチが承認された。なお、情報デザイン研究部会のキーノートスピーチは、テーマセッション内の1、2件分の時間帯を利用したディスカッションとして実施する方向性となり、他の研究部会からの同様のディスカッション実施の希望も確認することとなった。

住所変更はお済みですか？

住所不明で戻ってくる郵便物が
増えております。

住所変更は確実にお願いします。

届出は文書にてお願いします。

転居される方は、FAXまたは

綴じ込みの「入会届け」に

朱書きで「変更届け」と書き添えて、

事務局までご連絡ください。

ホームページ

http://jssd.jp/files/change_regular.pdfにも

様式が掲載されておりますので

ご利用ください。

退会等の届出も必ず文書にて

お願いします。

本部事務局

5. テーマセッションキーンノート講演の謝礼規則について（小林研究推進委員長）

小林研究推進委員長より、テーマセッションキーンノート講演の謝礼規則案について説明がなされた。審議の結果、定款の変更ではなく、運営規則等の変更で規則案を策定していくこととなり、引き続き、審議していくこととなった。

6. 2020年度春季研究発表大会OSについて（岡崎総合企画委員長（代）加藤理事）

加藤理事より、2020年度春季研究発表大会OS募集状況について説明がなされた。現在、会員からの応募1件と開催校提案1件があり、引き続き、2月末を締め切りとして募集していくとの報告がなされた。なお、次回の理事会が4月開催になるに伴い、4件のOS決定は総合企画と会長・副会長に一任することになった。

7. 2020年度秋季企画大会について（杉下担当理事）

杉下理事より、東京工芸大学での2020年度秋季企画大会開催案について説明がなされた。同大学での開催が決定し、日程については案のなかから開催校の希望で決定することとなった。テーマ等については、引き続き審議していくこととなった。

8. 2021年度春季研究発表大会について（境野実行委員）

境野実行委員より、長岡造形大学での2021年度春季研究発表大会について説明がなされた。開催予定のキャンパス情報が示され、大会テーマ等は引き続き審議していくこととなった。

9. 作品集掲載論文の機関リポジトリ公開について（杉下作品審査委員長）

杉下作品審査委員長より、作品集掲載論文の機関リポジトリ公開可否について説明がなされた。審議の結果、「J-Stage上で公開されているPDFファイルを機関リポジトリとして公開することはできないが、著者本人の承諾のもとで投稿時の最終原稿を機関リポジトリとして公開することは可能とする」という『デザイン学研究』と同様の対応をとることとなった。

10. 会員の移動について（佐藤本部副事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員5名（内外国人1名）、学生会員2名

退会：正会員3名

休会：正会員1名、学生会員1名（内外国人1名）

が承認された。

【報告事項】

11. 2019年度役員選挙について（永盛選挙管理委員長）

永盛選挙管理委員長より、選挙が滞りなく開催されるとの報告があった。

12. IASDR 報告（山中担当理事）

山中理事より、IASDR ボードミーティング議事録について説明がなされ、自身が会長になったとの報告がなされた。

13. デザイン学研究の進捗状況について（久保論審委員長（代）佐藤論文審査委員）

佐藤論文審査委員より、『デザイン学研究』における審査状況の報告がなされた。また、1月発行予定であったVol.66、No.3が近日中に公開されることとNo.4について出版社へ入稿済みとの報告がなされた。

14. 英文ジャーナルの進捗状況について（村上論審副委員長）

村上論審副委員長より、『Journal of the Science of Design』における審査状況の報告がなされた。

15. 特集号・会報の進捗状況について（井口学会誌編集・出版委員長（代）横溝理事、加藤（三）委員）

横溝理事より、102号の原稿を3月に入稿する予定との報告がなされた。また、103号についても5月発行に向けて準備を進めているとの説明がなされた。さらに、加藤（三）委員より、会報への掲載データを収集しているとの説明がなされた。

16. 作品集の進捗状況について（杉下作品審査委員長）

杉下作品審査委員長より、2019年度は17作品が掲載される予定で、3月初めの発行を目指して準備を進めているとの説明がなされた。

17. ホームページ更新状況について（大島広報委員長）

大島広報委員長より、ホームページの更新状況と「会員の著書」更新状況の報告がなされた。

18. 研究部会名変更について（小林研究推進委員長）

小林研究推進委員長より、デザイン理論・方法論研究部会の名称が2020年4月1日からデザイン科学研究部会へ変更されるとの報告がなされた。

19. 2019年度秋季大会報告（柚木大会実行委員長（代）佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、2019年度秋季企画大会の報告がなされた。

20. 会長賞の応募締め切りについて（松岡会長）

松岡会長より、会長賞の応募締め切りは3月中であるとの説明がなされ、各支部・委員会への推薦のお願いが再度なされた。

21. CHARLES OWEN 先生の追悼式について（山中理事）

山中理事より、1月25日にCHARLES OWEN先生の追悼式が行われ、ビデオレターの送付や寄稿を行ったとの報告がなされた。

22. 次回運営委員会中止について（松岡会長）

松岡会長より、3月7日開催予定の運営委員会について、重要議題がないことから中止にするとの説明がなされた。なお、必要な議題はメール審議で行うこととした。

記録：佐藤（浩）

日本デザイン学会2019年度
第3回運営委員会（メール審議）議事録

審議開始日■2020年3月10日（金曜日）

議決日■2020年3月19日（木曜日）

返信者■松岡、小林、佐藤（弘）、蘆澤、井口、大島、岡崎、加藤（三）、上綱、工藤、國澤、久保（光）、小山、杉下、永盛、生田目、平松、柳澤、山中、小野、佐藤（浩）、加藤（健）

1. 2019年度第5回理事会議事録の承認

記録：佐藤（浩）

【審議事項】

2. 2020年度春季研究発表大会OSについて（岡崎総合企画委員長）

提案された3件、および今後開催校から提案される1件の合計4件のOSとする。なお、総合企画は、今後、各OSの必要とされる費用合計（8万円以内）を確認する。

3. 春季研究大会におけるテーマセッションでの討論枠の希望について（小林研究推進委員長）

情報デザイン部会および農業デザイン部会から提案のあった、テーマセッションでの討論枠（40分）を承認する。

4. 論文審査（英文ジャーナル）のエディター候補者推薦について（小林研究推進委員長）

具体的な内容を、次回の運営会議または理事会で示していた

だけ、議論する。

5. デザイン学会イブニングツアーの件（益岡担当理事）

本提案を承認する。

6. 第二支部2018年度教育成果集予算支出の件

次回の運営会議または理事会で再度審議する。

7. 今後の理事会および運営会議の開催について（松岡会長）

次期理事会の組織化が4月11日開催予定の理事会に間に合いそうもないことを鑑み、4月を運営会議とし、6月6日開催予定の運営会議を旧体制と新体制の両構成員による理事会とする。

なお、6月の理事会は、新型コロナウイルス対応として、春季研究発表大会開催の是非に関する最終判断と位置づけ、あわせて、その場合の総会の実施要領を含めて最終決議する。そのため、開催校の準備日程を考慮し、4月の運営会議にて、理事会の開催日程の前倒しを検討する。

【報告事項】

8. 2020年度秋季企画大会について（杉下担当理事）

9. 2020年度役員選挙について（永盛選挙管理委員長）

10. 春季大会交流会会場変更の報告について（益岡担当理事）

上記、審議・報告事項について、運営会議構成理事全員により承認された。

記録：佐藤（浩）

日本デザイン学会2020年度
第1回運営委員会（メール審議）議事録

審議開始日■2020年4月3日（金曜日）

議決日■2020年4月11日（土曜日）

返信者■松岡、小林、佐藤（弘）、蘆澤、井口、大島、岡崎、加藤（三）、上綱、工藤、國澤、久保（光）、小山、永盛、生田目、平松、柳澤、小野、佐藤（浩）、加藤（健）

【審議事項】

1. 会長賞の選考について（松岡会長）

次回理事会で決議する。それまでに、事務局は会長との調整

を含め、案を作成する。

2. 2020年度名誉会員の選考について（佐藤本部事務局長）
次回理事会で決議する。それまでに、事務局は会員の状況を調査し、案を作成する。

3. 2020年度春季研究発表大会について（益岡先生）
コロナ禍の状況を鑑み、実施の是非を次回の理事会（5/16→6/6）で判断する。なお、実施する場合でも、懇親会とエクスカッションは中止とし、基調講演／特別講演については、主催校に一任する。中止の場合には「発表の取扱」「参加費等の返金」について、事前案を作成する。

4. 春季研究発表大会オーガナイズドセッションについて（岡崎総合企画委員長）
申請済みの3件を承認する。主催校からのOS企画が申請された場合は、それを4件目として承認する。もし、主催校からのOS企画が申請されない場合には、今回は3件のOSとする。

5. 2020年度秋季企画大会について（杉下担当理事）
次回理事会にて、審議・承認する。

6. 論文審査（英文ジャーナル）のエディター候補者推薦について（小林研究推進委員長）
継続審議とする。

7. 第二支部2018年度教育成果集予算支出について（佐藤本部事務局長）
2018年度未計上分を2019年度に計上し、不足分については予算の増額で対応する。

8. 次回理事会の開催日程について（松岡会長）
春季研究発表大会の是非を判断するため、次回理事会を5/16に前倒しで実施する。

9. 会員の移動について（佐藤本部副事務局長）
次回理事会で決議する。

10. 春季大会無しの総会単独開催方法について（松岡会長）
事務局は、要領や手順を周到に準備する必要がある。

11. 報告事項について（松岡会長）
報告事項は、次回の理事会ですべて報告する。

上記、審議事項について、運営会議構成理事全員により承認された。

記録：佐藤（浩）

日本デザイン学会2020年度第1回理事会議事録

日時■2020年5月16日（土曜日）14:00~18:00

場所■Web会議

出席者■松岡、小林、佐藤（弘）、蘆澤、井口、池田（岳）、池田（美）、大島、岡崎、柿山、加藤（大）、加藤（三）、上綱、工藤、國澤、國本、久保（雅）、久保（光）、黄、佐々木、杉下、田村、永盛、生田目、平松、細谷、益岡、村上、両角、柳澤、山中、横溝、小野、佐藤（浩）、加藤（健）

欠席者■岡田、小山、永井、原田、森田

1. 会長挨拶

松岡会長より挨拶がなされた。

2. 2019年度第3回運営委員会議事録ならびに2020年度第1回運営委員会議事録の承認

2019年度第3回運営委員会議事録案ならびに2020年度第1回運営委員会議事録案が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 2020年度総会・第2回理事会の実施要領（日程・方法）について（松岡会長、佐藤本部事務局長）

松岡会長より、2020年度総会・第2回理事会の実施要領について提案がなされた。議論の結果、総会については6月27日（土）の13時からオンラインで実施し、理事会は新旧メンバーに参加していただき同日15時からオンラインで開催することとなった。また、実施方法（使用ソフトウェアなど）は事務局で検討することとなった。

4. 2020年度理事会構成員・組織について（小林次期会長）

小林次期会長より、2020年度理事会構成員・組織について説明がなされた。議論の結果、特設を含めた組織構成案は次期会長に一任し、総会にて説明することとなった。また、選任に際して、理事就任の意思確認を再度行うこととなった。

5. 2020年度春季研究発表大会について（益岡実行委員、柿山概要集編集委員）

益岡実行委員、柿山概要集編集委員より、中止に伴う2020年度春季研究発表大会の対応について説明がなされた。審議の結果、書式に沿って執筆がなされている原稿は、発表費(3,000円)を支払うことで発表がなされたものと認めることとなった。なお、原稿の受諾・却下の判断は概要集編集委員会に一任し、本年度はUSBによる概要集の発行は行わないこととなった。

6. 会長賞の選考について(松岡会長)

松岡会長より、5名分の推薦について説明がなされた。審議の結果、5名の授賞が承認された。授賞式の開催時期や方法については、引き続き検討することとなった。

7. 2020年度名誉会員の選考について(佐藤本部事務局長)

佐藤本部事務局長より、名誉会員候補について説明がなされた。審議の結果、1名の授与が決定となり、他の候補の方については事務局を中心にご本人に確認することとなった。

8. 2019年度決算について(小野本部副事務局長)

小野本部副事務局長より、2019年度の決算について説明がなされ、承認された。

9. 2020年度予算案について(小野本部副事務局長)

小野本部副事務局長より、2020年度予算について説明がなされ、軽微な修正を除き、承認された。

10. 2020年度秋季企画大会について(杉下担当理事)

杉下担当理事より、2020年度秋季企画大会について説明がなされた。審議の結果、10月24日(土)、25日(日)の開催を予定して準備を進めていくこととなり、大会テーマ「みんなでデザイン：チームクリエイション」は承認された。なお、名誉会員との交流の場を検討するとともに、オンラインを含めた実施形態について事務局と連携しながら準備を行うこととなった。

11. 2020年度総会と議案書について(佐藤本部事務局長)

佐藤本部事務局長より、2020年度総会式次第と議案書の準備状況について説明がなされた。議論の結果、本年度はオンラインでの実施を予定しているが、前年度の式次第や進行を踏襲して準備を進めることとなった。議案書については、新理事に2020年度計画の執筆を依頼し、それらを含めた総会資料の作成を行っていくこととなった。

12. 会員の移動について(佐藤(浩)本部副事務局長)

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、
入会：正会員29名(内外国人3名)、

学生会員51名(内外国人17名)

退会：正会員47名、学生会員5名、年間購読会員：2社

休会：正会員2名

が承認された。

【報告事項】

13. デザイン学研究の進捗状況について(久保論審委員長)

久保論審委員長より、『デザイン学研究』の進捗状況について報告がなされた。2019年度分の発行が予定通り完了したとの報告がなされた。

14. 英文ジャーナルの進捗状況について(村上論審副委員長)

村上論審副委員長より、『Journal of the Science of Design』の進捗状況について報告がなされた。Vol.4のNo.1の発行が予定通り、5月末になるとの報告がなされた。

15. 特集号の進捗状況について(井口学会誌編集・出版委員長)

井口学会誌編集・出版委員長より、特集号の進捗状況について報告がなされた。27巻2号(2019年度分)の発行完了、5月末発行予定の28巻1号と10月末発行予定の28巻2号の進捗について説明がなされた。また、会員から指摘のあった2016年度以降のJ-Stageへの登載状況を事務局(佐藤(浩))で確認することとなった。

16. 作品集の進捗状況について(杉下作品審査委員長)

杉下作品審査委員より、2019年度作品集の発行が完了したとの報告がなされた。今年度分の発行に向けて、応募促進に向けたチラシ作成や会員への発信方法の検討を行っているとの説明がなされた。

17. 会報の進捗状況について(加藤(三)学会誌編集・出版委員)

加藤(三)学会誌編集・出版委員より、225号の準備が完了し、5月末の特集号に掲載予定であるとの報告がなされた。今後は、226号の準備を進めていくとの説明がなされた。

18. ホームページ更新状況について(大島広報委員長(代)永盛委員)

大島委員長より、現状の広報委員会の体制について説明がなされ、更新作業を促進していくとの報告がなされた。

19. 第2支部企画「教育成果集」について(平松第2支部長)

平松第2支部長より、「教育成果集」の冊子は秋季企画大会

と全国高校デザイン教育研究会主催の大会において配布する予定であるとの説明がなされた。

20. 上原勝先生の追悼文について（佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、上原勝先生が逝去されたとの説明がなされ、追悼文については佐藤本部事務局長が執筆することとなった。

記録：佐藤（浩）

日本デザイン学会2020年度第2回理事会議事録

日時■2020年6月27日（土曜日）15：00～17：00

場所■Web会議

出席者■小林、佐藤（弘）、赤井、蘆澤、池田（岳）、井関、大島、小野、柿山、加藤（大）、加藤（健）、上綱、工藤、國澤、國本、久保（雅）、久保（光）、境野、佐々木、佐藤（浩）、杉下、滝本、田村、寺内、永盛、生田目、ハイメ、平松、伏見、松岡、村上、両角、柳澤、山中、横溝、原田、細谷

欠席者■井上、岡本、小山、曾我部、橋田、蓮見、山内、山本、柚木

1. 会長挨拶

小林会長より挨拶がなされた。

2. 理事メンバー挨拶

新旧理事より挨拶がなされた。

3. 2020年度第1回理事会議事録の承認

2020年度第1回理事会議事録案が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

4. 理事会選出副会長の選出方法について（永盛選挙管理委員長）

永盛選挙管理委員長より、選出方法について説明がなされた。選出については秋季企画大会まで保留にすることとなった。なお、秋季企画大会までに対面の理事会が開催された場合にはその場で実施することとなった。

5. 理事の役割担当について（小林会長）

小林会長より、2020年度の会長、副会長、特設理事、支部

長および副支部長案が示され、承認された。

6. 2020年度春季研究発表大会概要集について（柿山概要集委員長）

柿山概要集委員長より、6月26日時点で231件の投稿意思表明があり、発表済みと認めることとなった。なお、取下げ意思表明を含むその他の原稿については取下げ扱いにすることとなった。

7. 2020年度秋季企画大会について（杉下担当理事）

杉下担当理事より、2020年度秋季企画大会について説明がなされた。パネルディスカッションにおけるパネリストを確定していくとともに、学生プロポ、ライトニングトーク、および支部企画について関係委員会と準備を進めていくとの報告がなされた。なお、実施形態（オンライン・対面）の判断については、8月1日の理事会にて検討することとなった。

8. 2021年度春季研究発表大会について（境野実行委員）

境野実行委員より、開催候補日として6月25日（金）、26日（土）、27日（日）が挙げられ、この日程で準備を進めているとの説明がなされた。今後は、社会情勢を鑑みながらの判断になるが、対面での実施を想定した準備を進めていくこととなった。

9. 2020年度名誉会員の選考について（佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、名誉会員候補について説明がなされた。審議の結果、2名の会員への授与が決定した。なお、授賞式は秋季企画大会で行うこととなった。

10. 作品集公募について（杉下作品審査委員長）

杉下作品審査委員長より、例年通りの周知作業を行っているとの報告がなされた。また、今後は審査方法について議論を行っていくとの説明がなされた。

11. 学会各賞公募について（山中担当理事）

山中担当理事より、7月17日をメ切で学会各賞の募集を行うとの報告がなされた。また、論文賞と作品賞については論審委員長（和英）と作品審査委員長からの推薦をいただくこととなった。さらに、HP上の定款の更新の依頼があり、事務局で対応することとなった。

12. 会員の移動について（佐藤（浩）本部副事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員14名、学生会員38名（内外国人7名）

退会：正会員6名（内外国人1名）、学生会員4名（内外国人1名）、賛助会員1件
休会：正会員1名
が承認された。

【報告事項】

13. デザイン学研究の進捗状況について（久保論審委員長）
久保論審委員長より、『デザイン学研究』の進捗状況について報告がなされた。7月発行予定の67巻1号の初校確認を著者に行っているとの報告がなされた。
14. 英文ジャーナルの進捗状況について（村上論審副委員長）
村上論審副委員長より、『Journal of the Science of Design』の進捗状況について報告がなされた。Vol.4のNo.1の発行が遅れており、6月30日になるとの報告がなされた。
15. 特集号の進捗状況について（寺内学会誌編集・出版委員長）
寺内学会誌編集・出版委員長より、特集号の進捗状況について報告がなされた。次年度以降の企画募集について今後募集していくとの説明がなされた。なお、J-stage未収録分についてはその収録作業を出版社へ依頼することとなった。
16. ホームページ更新状況について（大島広報委員長）
大島委員長より、体制の変更による各委員会支部へ情報の更新をお願いする予定であると報告がなされた。また、会員の著書を1件追加されたとの説明がなされた。
17. 研究部会の設立について（小林会長）
小林会長から、研究推進委員会における引継ぎ事項の確認がなされた。また、研究部会設立の際には、主査予定の先生による理事会での説明を以って承認する方法を実施していくこととなった。

記録：佐藤（浩）

日本デザイン学会2020年度第2回運営委員会議事録

日時■2020年9月26日（土曜日）15：00～17：00

場所■Web会議

出席者■小林、佐藤（弘）、大島、國澤、境野、杉下、寺内、永盛、生田目、平松、松岡、村上、山中、蘆澤、小野、加藤（健）、佐藤（浩）

欠席者■久保

1. 会長挨拶
小林会長より挨拶がなされた。
2. 2020年度第3回理事会議事録の承認
2020年度第3回理事会議事録案が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 理事会選出副会長の選出方法について（永盛選挙管理委員長）
永盛選挙管理委員長より、理事会選出副会長の選出方法について提案がなされた。1回目の投票は10月前半に郵送で行い、2回目の投票は10月24日（土）にZOOMで行うこととなった。使用するZOOMは永盛委員長が準備することとなった。
4. 2020年度秋季企画大会について（杉下担当理事、生田目財務委員長、小野研究推進委員長）
杉下担当理事、生田目財務委員長、小野研究推進委員長より、2020年度秋季企画大会の準備状況の報告がなされた。パネリストの人数変更（4→3）や24日11時からの理事会開催について承認された。また、開閉会式の段取り（次回の大会の宣伝等）や実施形態（ストーリーミング等）について事務局と準備を進めていくこととなり、事務局と各委員会から当日会場へ直接向かう人数を知らせることとなった。なお、会長賞の受賞者発表の際は学会各賞授賞と混同しないように配慮することとなった。
5. 2020年度学会各賞選考結果について（山中担当理事）
山中担当理事より、2020年度学会各賞選考状況について説明がなされた。審査期間中における審査方式の変更により、現在も審査は進行中であるとの報告がなされた。今後は、秋季企画大会前までに審査結果をまとめて、事前にメールで周知し、10月24日に開催される理事会で承認されることを目指していくとの説明がなされ、承認された。

6. 2021年度春季研究発表大会について（境野実行委員）

境野実行委員より、2021年度春季研究発表大会の準備状況について説明がなされた。大会当日のスケジュール案や予算案について、対面＋リモート案と対面なしのリモートのみの案が示された。審議の結果、引き続き、著作権などの懸念事項や検討事項を議論していくこととなった。

7. 特集号のJ-stage掲載費用について（佐藤本部副事務局長）

佐藤本部副事務局長より、特集号のJ-stage掲載費用について説明がなされた。審議の結果、PDFデータをそのまま掲載する形式でJ-stageへアップロードすることとなった。

8. 会員の移動について（佐藤本部副事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員8名、学生会員4名（内外国人1名）

退会：正会員4名（内外国人1名）、学生会員3名

休会：正会員1名

が承認された。

【報告事項】

9. デザイン学研究と英文ジャーナルの進捗状況について（久保論審委員長（代）佐藤委員）

佐藤委員より、『デザイン学研究』『Journal of the Science of Design』の進捗状況について報告がなされた。

10. 特集号の進捗状況について（寺内学会誌編集・出版委員長）

寺内学会誌編集・出版委員長より、10月発行予定の28巻2号の原稿が入稿済みとなっており、予定通り発行されるとの報告がなされた。また、次年度のテーマについては別途検討していくとの説明がなされた。

11. 作品集の進捗状況について（杉下作品審査委員長）

杉下作品審査委員長より、今年度は37件の作品応募があったとの報告がなされた。来年3月の発行に向けて審査を進めていくとの説明がなされた。

12. ホームページ更新状況について（大島広報委員長）

大島委員長より、WordPressの仕様変更に伴う更新のしにくさを解消するため、マニュアルを作り直して更新を促すようにしていくとの報告がなされた。

記録：佐藤（浩）

本部事務局

当学会では、会費の自動引き落としが義務付けられております。すでに、半数以上の会員の方にご利用いただいておりますが、まだ登録がお済でない会員の方は、登録手続きをされますよう、お願い申し上げます。また、口座引き落とし依頼書がお手元にない方は、本部事務局へご請求ください。

2021年度の年会費引き落としは、2021年5月6日付けにて引落をさせていただきます。宜しくお手配くださいます様お願い申し上げます。

日本デザイン学会2020年度第3回理事会議事録

日時■2020年8月1日（土曜日）15：00～17：00

場所■Web会議

出席者■小林、佐藤（弘）、井関、池田、井上、大島、岡本、上綱、工藤、國澤、國本、久保（光）、境野、佐々木、杉下、滝本、田村、寺内、永盛、生田目、ハイメ、橋田、蓮見、平松、伏見、松岡、柳澤、山内、山中、山本、横溝、蘆澤、小野、加藤（健）、佐藤（浩）

欠席者■赤井、柿山、小山、曾我部、益岡、村上、柚木

1. 会長挨拶

小林会長より挨拶がなされた。

2. 2020年度第2回理事会議事録の承認

2020年度第2回理事会議事録案が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 2020年度秋季企画大会について（杉下担当理事）

杉下担当理事より、2020年度秋季企画大会の準備状況報告と開催方式案について説明がなされた。審議の結果、開催方式はオンラインで1日、参加費はなし、予算は30万円を目安として準備を進めていくこととなった。なお、大会当日の理事会は中止とし、学会各賞の授賞式は行わず、氏名のみを発表することとなった（授賞式は対面開催が可能になった際に実施）。

4. 2020年度学会年間スケジュールについて（佐藤本部副事務局長）

佐藤本部副事務局長より、2020年度学会年間スケジュールについて説明がなされた。審議の結果、理事会の日程が変更された（9月5日→9月26日へ変更、10月24日→中止、2月13日（メール審議）→2月13日（理事会）、3月13日（理事会）→3月13日（メール審議））。修正版、理事会メンバーへ送付することとなった。

5. 学生プロポジション企画案（小野研究推進委員長）

小野研究推進委員長より、秋季企画大会における学生プロポジション企画案について説明がなされた。企画方針やテーマ案については承認され、具体的な方法やスケジュールについては開催校と準備を進めていくこととなった。

6. 次年度以降の春季大会のConfit（投稿システムと参加登録システム）の増額に関して（春季研究発表大会概要集編集委員会柿山委員長（代）永盛委員）

永盛委員より、次年度以降のConfit利用料金について継続割引が終了することから20万円ほど増加するとの説明がなされ、承認された。

7. 2021年度春季研究発表大会について（境野実行委員）

境野実行委員より、2021年度春季研究発表大会の準備状況について説明がなされた。審議の結果、テーマ案については承認され、オンライン開催に向けた課題については引き続き、事務局や研究推進委員会と議論を進めることとなった。

8. 会員管理システムの導入について（佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、会員管理システムの導入について説明がなされた。今後は年末の導入に向けて準備を進めていくとの報告がなされた。

9. 特集号のJ-stage掲載費用について（佐藤（浩）本部副事務局長）

佐藤本部副事務局長より、特集号のJ-stage掲載費用について説明がなされた。審議の結果、論文集と同様の掲載形式とした場合の見積りを再度行うこととなり、次回の理事会で審議することとなった。

10. 会員の移動について（佐藤本部副事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員6名（内外国人2名）、学生会員4名（内外国人1名）、年間購読会員1件

退会：正会員3名、学生会員2名

が承認された。

【報告事項】

11. デザイン学研究の進捗状況について（久保論審委員長）

久保論審委員長より、『デザイン学研究』の進捗状況について報告がなされた。

12. 英文ジャーナルの進捗状況について（村上論審副委員長（代）柳澤委員）

村上論審副委員長より、『Journal of the Science of Design』の進捗状況について報告がなされた。

13. 特集号の進捗状況について（寺内学会誌編集・出版委員長）

寺内学会誌編集・出版委員長より、10月発行予定の28巻2号が年内の発行になるとの説明がなされた。また、次年度のテーマの募集に関する告知もなされた。

14. 作品集の進捗状況について（杉下作品審査委員長）

杉下作品審査委員長より、今年度分の作品募集に関するチラシ、webサイト、メールによる告知が完了したとの説明がなされた。

15. ホームページ更新状況について（大島広報委員長）

大島委員長より、体制の変更による各委員会支部へ情報の更新をお願いする予定であると報告がなされた。

16. 第一支部大会のお知らせ（横溝支部長）

横溝第一支部長から、2020年度第一支部大会について説明がなされた。

17. 各委員会・支部の幹事推薦について（佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、各委員会・支部において幹事の推薦がある場合には事務局への連絡をしていただきたいとのお願いがなされた。

18. 学会各賞授賞推薦について（山中理事）

山中理事より、学会各賞授賞推薦状況について報告がなされた。また、推薦対象の推薦理由や経緯について追加の情報を関係委員長へ別途依頼するとの説明がなされた。

記録：佐藤（浩）

2020年度総会報告

本部事務局

2020年6月27日（土）、オンライン形式で第67回総会が開催されました。司会進行は佐藤浩一郎本部副事務局長が行いました。司会より、議決権を持つ代議員の出席者数が会場出席者44名、委任状が48で、過半数（定数137名）により総会が成立することが報告されました。次に総会の議事録署名人2名を募り、蘆澤雄亮理事と加藤健郎理事が担当することを決定した後に議事に入りました。議事は松岡由幸会長を議長として進行しました。

はじめに、第1号議案として2019年度事業報告が佐藤弘喜副会長から説明されました。参加者からの質疑応答を経て議決の結果、承認されました。また第2号議案の2019年度収支決算報告が小野健太本部副事務局長により説明され、それに対し國澤好衛監事から監査報告がなされました。引き続き、第3号議案として2020-2021年度役員選任について永盛祐介選挙管理員長より説明がありました。2020-2021年度の理事候補者、監事候補者が示され、参加者からの質疑応答を経て議決の結果、全員が承認されました。

つぎに、報告事項として2020年度委員会等一覧（案）、日本デザイン学会組織（案）が小林新会長より説明されました。続いて、2020年度事業計画（案）が佐藤弘喜副会長より説明されました。そして、2020年度予算案が小野健太本部副事務局長より説明されました。なお、議案の詳細については会報末に総会資料を掲載いたしましたので、ご参照ください。

2020年度日本デザイン学会秋季企画大会報告

大会実行委員会：内山雄介、高梨令、高城光、杉下哲

2020年度日本デザイン学会秋季企画大会は、続く新型コロナウイルス感染症の社会状況のなか、東京工芸大学を幹事校として、10月24日（土）にオンラインで開催しました。参加者は123名でした。

本大会では、「みんなでデザイン：チーム・クリエイション」をテーマに、諸問題を乗り越えて正解をつくる新たなクリエイターの在り方などを見出すなどのため、私たちデザイン関係者の原点である創造：クリエイションに立ち、今求められるクリエイター達による共創を「チーム・クリエイション」と位置づけ、それらによる「みんなでデザイン」する知見や手法などの共通理解を深めることを目指しました。コロナ禍である今だからこそ、共に考えたいとしました。

また、オンライン開催は、本学会初めての実施でした。春季発表大会中止などの学会内外のイベント開催状況や幹事校内の

意思決定など、諸問題に対応しながら企画検討を進めました。今後の参考になる大会運営を心掛けました。

以下に、大会のプログラム概要とオンライン開催などについて記します。

■10/24（土）プログラム概要

1) 開会式・表彰式

小林昭世会長からの開会挨拶の後、佐藤弘喜副会長から以下の通り、各賞表彰を行いました。授賞式は以降に予定されます。

- ・功労賞：青木弘行、三橋俊雄、石川善美、勝浦哲夫（敬称略）
- ・年間論文賞：阿久井康平、久保田善明、小納亜希「観光・特産品に着目した都市魅力評価指標の開発と国内主要都市の比較分析」(vol.66, no.1, pp29-38, 2019)
- ・年間作品賞：山本早里、野濱ありさ、前田萌「地域資源を活用した公共交通デザイン：ひたちBRTを事例として（A類）」(vol.25, no.1, pp40-45, 2019)



開会挨拶の風景（Zoom画面：小林昭世会長）

2) 基調講演

山口裕幸氏（九州大学大学院人間環境学研究院・教授）からテーマに向けて社会心理学や組織行動学などの観点からの話題を提供していただき、共通理解を持ちました。



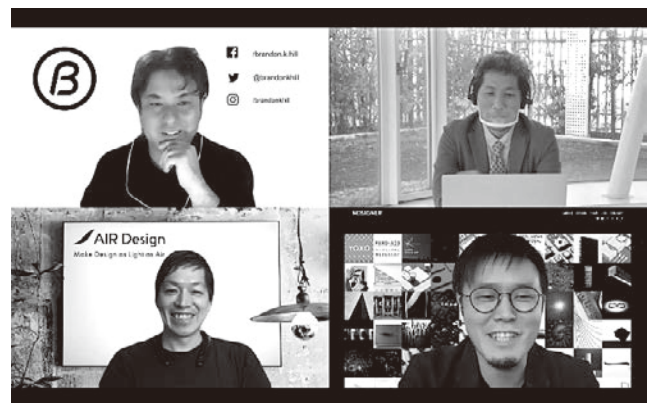
基調講演の風景（Zoom画面：山口裕幸氏）

3) パネルディスカッション

3名のパネリストからテーマに関わるAIとデザインをキーワードにした事例などを紹介いただき、実践的な知見の共通理解を深めました。

パネリスト：中平健太氏（株式会社ガラパゴス代表）、太刀川英輔氏（NOSIGNER代表）、Brandon K. Hill氏（CEO & Founder, btrax, Inc.）

モデレーター：内山雄介・高梨令



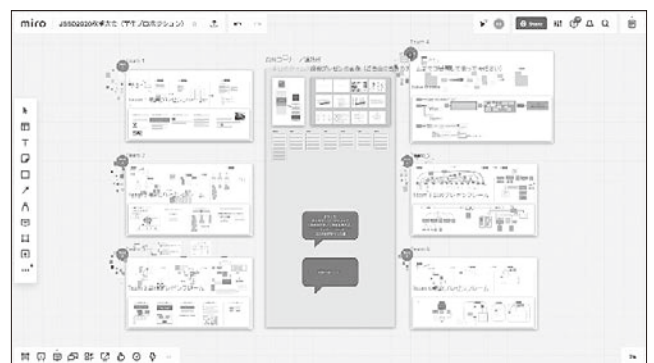
パネルディスカッションの風景

（Zoom画面：左上：Brandon氏、左下：中平氏、右下：太刀川氏、右上：内山）

4) 学生プロポジション（発表）

オンラインワークショップ「未来のデザイン学生を考える」が実施されました。全国14校、31名の学生が参加し、活発な意見交換が行われました。従来のデザイナーの枠を超えた、コミュニケーションの仲介役としてのデザイナー、色々な人を巻き込み役としてデザイナー、世界の解像度を高めるデザイナーなど、今後のデザイン領域の拡大の方向性を示唆するユニークかつ説得力のある提案がなされました。参加者からの投票、研究推進委員会、企画委員会による審議の結果、3チームに優秀賞、研究推進委員会特別賞が授与されました。

実施では、「学校を超えた学生間の学術的交流」を目的に、これまでは、全国のデザイン学生が日頃の研究・教育の成果を



Miro上での6チームのディスカッション



幹事校での運営メンバーの活動風景

持ち寄りポスター形式による発表会を行っていました。本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止と共にオンライン開催をポジティブに捉えて行われました。

担当：研究推進委員会：小野健太、蘆澤雄亮、柿山浩一郎、
佐々牧雄、佐久間彩記、秋山福生

企画委員会：生田目美紀、工藤芳彰

5) 閉会式など（挨拶、春季大会の案内など）

小林昭世会長からの閉会挨拶などの後、2021年度春季発表大会について境野当理事から案内がありました。

■オンライン開催

オンライン開催に際しては、テーマやスケジュールなどとともに、参加費を無料とするなど予算の決定を理事会で受けて進めました。大会費用や業務負担を抑制するため、大会WebサイトはWordPressを使って実行委員会で作成し、参加登録はPeatix Japan株式会社のサービスを利用しました。学生プロポジションは専用Webサイトが設けられました。使用アプリは、学会が契約したZoom（オプション：500名まで、ウェビナー機能）としました。当日は、幹事校の入学制限や感染防止対策などの条件に従い、（仮称）大会センターとして学内に



簡易スタジオの風景



大会実行委員会メンバー（Zoom画面）

設けた簡易スタジオや学生プロポジション専用室、関係者サロンで実施しました。スケジュールでは、各プログラムの合間に20分の移行時間を設けるなど、トラブル回避を意図した余裕のある進行としました。

文末になりますが、続くコロナ禍のなかで貴重なお時間を取っていただき、ご参加いただいた皆様、開催にあたってご協力いただいた皆様に感謝の意を表すると共に、会員の皆様の益々のご発展を祈念し、開催報告といたします。

■組織体制：大会実行委員長：内山雄介、副実行委員長：高梨令、事務局長：高城光、担当理事：杉下哲

■大会Webサイト：<http://www.dsn.t-kougei.ac.jp/jssd20f/>
参加登録Webサイト <https://jssd20f.peatix.com/>
学生プロポジションWebサイト：

<https://jssd2020stdntpropo.studio.site/>

2020年度第5支部発表会

2020（令和2）年10月17日（土）、九州産業大学を幹事校として、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、2020年度第5支部発表会をオンラインで開催しました。

本発表会では、研究発表26件、ライトニングトーク10件の合計36件の発表がありました。また、第5支部の会員、学生のみならず、遠くは北海道、東京などの他支部の会員、学生の参加もあり、計64名に上る参加がありました。

昨年度に引き続き、概要原稿についてはMediaWikiを活用しました。加えて、オンライン開催ということから、発表者や聴講者への柔軟な対応という趣旨のもと、MediaWiki上に提案物やプレゼンテーションの動画をアップロードするビデオオンデマンド方式を取り入れました。また、各発表に対する質疑応答は、MediaWiki上の議論のページへの書き込みで対応することにしました。

今年度の発表会は、コロナ禍の影響を受けて、支部として想定していた以上のスピード感で、MediaWikiを活用した新しい学会発表のあり方を実験的に実施することとなりました。概ね好評と思われませんが、今年度の総括のもと、来年度以降の発表会の実施方法などについて、幹事、支部会員の皆さまと検討していく予定です。

2020年度第5支部発表会

<https://design.kyusan-u.ac.jp/jssd5th/>

第5支部長 田村良一

企画委員会 支部企画

2019年度「教育成果集2019」は9月に発行いたしましたが、秋季大会がリモートでの開催となったことから配布ができなくなりましたので、本部事務局より学生会員に郵送にて配布をしていただきました。

また、「全国高校デザイン教育研究会」での配布も調整を行ってきましたが、こちらも本年は中止となり、今年と来年、再来年の開催校並びに理事長校のご担当の先生宛に本冊子を送付し、今後のご協力をお願いいたしました。

「教育成果集2019」は、掲載いただきました先生方にはご案内の上、発送いたしました。ご希望の方には送料をご負担いただければ、お送りすることができますので、第2支部の平松までメールにてご連絡いただければと思います。

メールアドレス jssd-ed_hira@mbr.nifty.com

日本デザイン学会第68回春季研究発表大会について

- 日 時：2021年6月25日（金）～27日（日）
- 会 場：長岡造形大学
- 大会テーマ：「地にいきるレジリエンス・デザイン」

尚、現在新型コロナウイルス感染拡大による影響を注視しており、現地またはリモートの開催形態については2021年3月頃、学会HP等で連絡いたします。

デザイン学研究 作品集 25号（2019）の発行

作品審査委員会

「デザイン学研究 作品集 25号（2019）」を、電子ジャーナルとしてインターネット上のJ-Stageに掲載し、発行いたしました。「デザイン学研究 作品集」（以下 作品集）は、J-Stageに掲載公開されることにより、電子化作品論文・作品ムービーとして、世界中どこからでもアクセスが可能となっています。今年度、本号を発行するにあたり次の方々へ感謝します。デザインの優れた作品を論述などして伝えた投稿者のみなさま、複数回に審査いただいた専門審査委員の方々、そして募集から最終審査、編集までのプロセスを担った本委員会の委員と幹事のみなさま、ありがとうございました。本号は以下のURIから閲覧できます。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/adrijsd/list/-char/ja>



募集・審査・編集・発行の経緯

今年度は、厳正な作品審査を経て、優れた作品17件の掲載が可能となりました。内4件に作品ムービーが添付されています。採択率は55%です。募集・審査・編集・発行の経緯を以下に記します。

- ・ 6月22日：作品募集の告知（学会メール通知、名古屋市立大学での研究発表大会においてチラシ配布）
- ・ 8月31日：投稿受付（31件）
- ・ 9月7日：第1回審査会
- ・ 9月9日～10月8日：第1次審査
- ・ 10月10日：第2回審査会
- ・ 10月18日：審査結果の通知 [第1次審査結果：採択2件・条件付き採択21件、不採択8件]
- ・ 10月19日～11月14日：著者による原稿修正、受付
- ・ 11月18日～12月9日：第2次審査
- ・ 12月14日：第3回審査会

- ・12月20日：審査結果の通知〔第2次審査結果：採録（一部修正依頼）：17件、不採録：6件〕
- ・1月上旬：修正原稿の受付
- ・1月下旬から：本委員会で編集内容協議
 - ：本委員会より正文社へ発行作業を依頼
 - ：正文社より著者へ校正などを依頼
 - ：学会事務局より著者へ掲載料を請求
- ・2月下旬から：正文社より著者へ校了などを依頼
- ・3月末まで：正文社から本委員会へ発行作業終了の報告
 - ：J-Stage上で発行

専門審査委員

伊豆裕一 伊藤孝紀 伊藤真市 伊原久裕 榎本文夫
 黄ロビン 上平崇仁 酒井聰 佐々木尚三 曾我部春香
 永井由佳里 西岡仁也 原田泰 藤本英子 本江正茂
 山崎真湖人

2019（令和元年）年度 作品審査委員会

委員長 杉下哲
 副委員長 小林昭世
 委員 加藤大香士 上綱久美子 永盛祐介 細谷多聞
 幹事 高梨令 水谷元

2020年度 学会各賞

会員、論文審査委員会、作品審査委員会、本選考委員会より推薦された各賞候補から功労賞：4件、年間論文賞：1件、年間作品賞：1件が選考されました。

- ・功 労 賞：青木弘行、三橋俊雄、石川善美、勝浦哲夫（敬称略）
- ・年間論文賞：阿久井康平、久保田善明、小納亜希
 観光・特産品に着目した都市魅力評価指標の開発と国内主要都市の比較分析
 (vol.66, no.1, pp29-38, 2019)
- ・年間作品賞：山本早里、野濱ありさ、前田萌
 地域資源を活用した公共交通デザイン：ひたちBRTを事例として（A類）
 (vol.25, no.1, pp40-45, 2019)
 (2019年度学会各賞選考委員会 庄子晃子、青木弘行、杉山和雄、原田昭、松岡由幸、宮内愨、宮崎清、森典彦、山中敏正)

- ・2020年度会長賞
 安井重哉氏
 第1支部の活動、特に支部研究会の開催と運営への貢献。
- 森山貴之氏
 第2支部の企画「教育成果紹介冊子」の編集全般への貢献。
- 中西正明氏
 第3支部研究発表会報告集の編集と支部諸活動の運営に貢献。
- 山岡俊樹氏
 第4支部研究発表会への参加、研究企画、運営への貢献。
- 梶谷克彦氏
 第5支部の研究発表、ライトニングトーク、学生デザイン展に係る企画と運営への貢献。

なお、上記の表彰は、名誉会員の授与（岡田明氏、久保雅義氏）とともに、2021年春季大会（長岡造形大学）にて行う予定です。

（報告：山中敏正、小林昭世）

2020年度名誉会員の選考について

10月24日に開催された秋季企画大会において、新たな名誉会員として岡田明会員（108号）、久保雅義会員（109号）の2名に名誉会員証を贈呈することが報告されました。

ただし本年度は新型コロナウイルス問題で春季大会・秋季大会ともに対面で実施できなかったため、名誉会員証の贈呈については次年度の総会時を予定しています。

献本御礼

◆献本

- 「人を着るといふこと」小野原教子著
- 「ビジュアルデザインのための発想スイッチ 20テーマによる分析・演習」吉原直彦編著 西田麻季子著
- 「造形デザインのための注意のスイッチ 観察・思考・創案にむけて」吉原直彦著
- 「4次元図形百科」宮崎興二著

◆機関誌ほか

- 「デザイン理論 意匠学会編 76号」発行：意匠学会、2020年7月
- 「多摩美術大学研究紀要 第34号 2019年」発行：多摩美術大学、2020年3月
- 「多摩美術研究 第9号 2020年」発行：多摩美術大学、2020

年6月
 「第36回ファジイシステムシンポジウム講演論文集」発行：日本知能情報ファジイ学会、2020年9月
 「日本オフィス学会誌 第12巻 第1号」発行：日本オフィス学会、2020年4月
 「日本オフィス学会誌 第12巻 第2号」発行：日本オフィス学会、2020年10月
 「2020年度工学教育研究講演会講演論文集・第68回年次大会プログラム」発行：公益社団法人日本工学教育協会、2020年8月
 「GK Report 2020 No.38 New Normalと共に」発行：株式会社GKデザイン機構、2020年10月
 「TAMABI NEWS Vol.85」発行：多摩美術大学
 「JIDA デザインミュージアムセレクションVol.21」

◆催事情報

「工の芸術 素材・わざ・風土」2020.10.25-2021.1.11 国立工芸館
 「富田由悠季の世界ーガンダム、イデオン、そして今」2020.11.28-2021.1.24 富山県立美術館
 「眠り展：アートと生きること ゴヤ、ルーベンスから塩田千春まで」2020.11.25-2021.2.23 東京国立近代美術館

会員の移動

◆2020年度1回理事会 2020.05.16

新入会

正会員29名（内、海外会員3名）

青木優里香	浅田 史音	荒谷 祐衣	稲垣 晴菜
稲葉 貴志	大久保敏之	小野田元海	片岡 夏海
神谷 泰史	北村 尊義	串田 賢一	小袖 詩恩
佐々木俊弥	定國 伸吾	菅本 彩世	仙波 真二
高嶋 啓	竹山 賢	土井 智喜	布施 匡章
三浦 慎司	水出 悠斗	三谷 全哉	三寺 潤
三宅亮一郎	横関 隆登	Mikyung BAK	
張 彦芳	蘇 暢		

学生会員51名（内、海外会員17名）

飯島 百香	池 鮎人	伊藤 崇宙	遠藤 和磨
大塚 竣揮	岡村 綾華	嘉部 晴章	川口 伽椰
草苺 和士	久保田賢治	栞原 清多	小篠 佑佳
古立 守	小西 広実	小林玲衣奈	近藤 宏樹
酒井 章	周 維洋	諏訪正太郎	高谷 紘子
西野 涼子	野田 雅仁	長谷 真彩	幅田 悠斗

平井 恭	平井 由香	藤田 花南	三上 隼人
三井 琳世	武藤 稜介	山根 圭太	山本 薫
山本 康介	山本智香子	CUI YITZNG	
Chao Lung-Chieh	Sikazwe Nondo, Jacob		
ZHANG SI YUN	XU LU	王 彦丹	
何 乃馨	孔 春	周 晨禾	卓 銘
張 倩	沈 添	朴 夏林	林 東煥
廖 満麗	艾 堯天	范 熙文	

退会

正会員51名

明田川紗代	池亀 拓夫	石井 樹章	伊藤兼太郎
岡田 侑里	奥田 稔	角田 奈菜	笠井 肇
桂 雅彦	金子かつこ	亀田 佳一	川嶋 恒美
岸本 侑子	北 真吾	児玉 静夫	近藤 孝
三枝 正人	佐々木康輔	佐藤 佳代	島貫 陽
田尾 繁	田中 里佳	谷川 憲司	谷山 拓治
中尾 寛	長尾 誠	中込 勝	中島 聡
橋本みゆき	林田 廣伸	平塚 友康	星加 民雄
細野 幸敏	本間 康夫	前泊 秀徳	松下 勇夫
水出 博司	宮木 慧子	目黒 秀明	茂木 一司
森 公一	森 幸雄	森田 克己	安武 正剛
山田 茂	渡辺 俊生	渡邊 萌	

学生会員4名

芦田ひかり	秋田 和弥	川瀬 彩華	川寄加奈代
-------	-------	-------	-------

年間購読会員2件

西日本書店 本店
 東北工業大学附属図書館

休会

正会員2名

今西 英	矢代 恵一
------	-------

◆2020年度2回理事会 2020.06.27

新入会

正会員14名

安斎 勇樹	飯島 淳一	稲村 徳州	小野 洋介
加藤 拓巳	駒井 正人	杉澤 愛美	仙田 真郷
東南 裕美	棚橋沙由理	針谷 爽	舩山 俊克
三富 敬太	村山 祐子		

学生会員38名（内、海外会員7名）

朝山 絵美 井口 佳穂 石黒 大洋 伊集 千夏
今村 剛 大森 るな 岡本 晋 小川 桃佳
川上 陽平 日下 真緒 軍司 円 小松 裕奈
齊木 悠太 齋藤 太一 佐藤 拓海 雫石 華那
関根 佳穂 辰巳 駿介 土井彩容子 中島 彩依
仲宗根掌心 西村 歩 備前 比呂 平野 雄大
廣瀬 花衣 廣田 海洋 松本 夏海 三河 侑矢
村田 基 安田浩一郎 柳田 亮
Chingchuang Chayanis 王 建明 鞠 潤亨
徐 湘綾 鄭 響 李 哲奇 劉 嬌

休会

正会員1名
吉田 栄一

退会

正会員7名（内、海外会員1名）
伊藤 清忠 具志堅裕介 丹羽 紀文 萩原 和
福士 夏季 森江 健二 趙 領逸

学生会員3名

飯塚 昂大 大倉 幹生 豊福 拓歩

賛助会員1件

ソニー（株）

訃報

名誉会員 郡山正先生

◆第2回運営委員会 2020.09.26

新入会

正会員8名
石島 康裕 春日 遥 木下 陽介 佐々木康成
鈴木 孝昭 高階 洋吉 難波 美帆 堀内 芳明

学生会員4名（内、海外会員1名）

押方 啓 川田 進 古徳 景子 葛 尉初

退会

正会員4名（内、海外会員1名）
西澤よそ子 松林 景子 山地 眞一 林 韓燮

学生会員3名

大竹 美緒 岸本 健 佐藤ちひろ

◆第4回理事会 2020.10.24

新入会

正会員6名（内、海外会員1名）
桑原 隆彰 佐久間奈々恵 櫻井 亮汰 西田 優子
早野 慎吾 李 宜蓉

学生会員1名（海外会員）

徐 方正

退会

岩崎 建樹 片山 茂樹

訃報

第2支部 中山 定雄

◆第3回理事会 2020.08.01

新入会

正会員6名（内、海外会員2名）
小松佳代子 鈴木 綾 田島 翔太 藤原 宏樹
林 采泳 朴 京子 大浦 楓子

学生会員3名（内、海外会員1名）

小平 明 坂場 寛子 KLOSS BASTIAN

年間購読会員2件

武庫川女子大学附属図書館 雑誌担当

Ahn Jae Wook

退会

正会員3名
田丸 和寿 萩原 和 藤本 祥子

学生会員2名

大谷亮太郎 渡辺 裕之